

●評価規準案

高等学校地理歴史科 「高等学校 日本史探究」(35・清水・日探704)

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4 月	1	序	序 私たちはなぜ歴史を学ぶのか		これまで学んだ事象や見方・考え方を働かせて、歴史を学ぶ視点や意義について考察し、表現している。	歴史への関心を高めるとともに、歴史を学ぶ視点や意義、歴史資料の特性についての関心と課題意識を高める。		
			3	第1編 原始・古代の日本と東アジア	第1章 黎明期の日本列島と歴史的環境	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。	黎明期の日本列島と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。
			1	第2章 歴史資料と原始・古代の展望	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能が身についている。	前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	
10	10	10	第3章 古代の国家・社会の展開と画期					
			第1節 古代国家の形成と東アジア	国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、資料を適切に活用し、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	中国大陸・朝鮮半島との関係や、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	古代国家の形成、古代の政治・社会や文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。		
			4 倭国は東アジア世界とどうかわったのか 5 前方後円墳は何をあらわしているのか 6 ヤマト政権はどのように倭国をまとめていたのか 7 飛鳥文化を生み出した背景とは 8 律令国家はどのように形成されたのか 9 律令体制の仕組みとは 10 奈良時代の政治はどのように推移したのか 11 天平文化を生み出した背景とは 〈女性の歴史〉1 出土資料にみる先史時代の女性 〈もっと知りたい日本史〉1 奈良時代の政治史と木簡					

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5月			第2節 古代国家の推移と社会の変化			
			12 律令政治の再建はどのようにおこなわれたのか 13 平安初期の文化はどのような国際環境で生まれたのか 14 摂関時代の政治はどのように推移したのか 15 東アジアの変動と国風文化にはどんな関係があるのか 〈もっと知りたい日本史〉2 仏像からみる古代史 〈もっと知りたい日本史〉3 国風文化を生み出した東アジアの変動	貴族政治の展開, 平安期の文化, 地方支配の変化や武士の誕生などを基に, 資料を適切に活用し, 律令体制の再編と変容, 古代の社会と文化の変容を理解している。	地方の諸勢力の成長と影響, 東アジアとの関係の変化, 社会の変化と文化との関係などに着目して, 主題を設定し, 古代の国家・社会の変容について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	律令体制の再編と変容, 古代の社会と文化の変容について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
			4 第2編 中世の日本と世界	第1章 中世への転換と歴史的環境		
			16 中世社会はどのようにして成立したのか 17 国家の武力はだれがになったのか 18 中世の国家はどのように形成されたのか 19 「武者の世」はどのようにしてはじまったのか	政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代の転換を理解している。	権力の主体の変化, 東アジアとの関わりなどに着目して, 古代から中世の国家・社会の変容について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。	古代から中世への転換と歴史的環境について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
	1		第2章 歴史資料と中世の展望			
				中世の特色を示す適切な歴史資料を基に, 資料から歴史に関わる情報を収集し, 読み取る技能が身についている。	前章の学習を踏まえ, 古代からの時代変化に着目して, 中世の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ, 資料を通して読み取れる情報から, 中世の特色について多面的・多角的に考察し, 仮説を表現している。	歴史資料と中世の展望について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
	14		第3章 中世の国家・社会の展開と画期			
			第1節 武家政権の成立と展開			
			20 鎌倉幕府はどのようにして成立したのか 21 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したのか 〈もっと知りたい日本史〉4 硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島 〈地域の歴史〉1 東国御家人の移住—西遷御家人・北遷御家人 22 鎌倉仏教の特色は何か 23 鎌倉文化の特色は何か 24 モンゴル(元)はなぜ日本を攻め取れなかったのか 25 鎌倉幕府はなぜ滅びたのか	武家政権の成立と展開, 産業の発達, 宗教や文化の展開などを基に, 武家政権の伸長, 中世の社会や文化の特色を理解している。	公武関係の変化, 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して, 主題を設定し, 中世の国家・社会の展開について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	武家政権, 宗教と文化の展開について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6 月			第2節 武家政権の変容と中世の社会	政治や文化の多元化, 多様化, 国際関係の変化などを基に, 地域権力の成長, 社会の変容と文化の特色を理解している。	社会や経済の変化と影響, 東アジアの国際情勢の変化とその影響, 地域の多様性, 社会の変化と文化の関係などに着目して, 主題を設定し, 中世の国家・社会の変容について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	武家政権や社会の変容と文化の特色について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
			26 建武政権はなぜ崩壊したのか 27 室町幕府の政治はどのように推移したのか 28 元寇後の東アジアの交流はどのようなものか 〈もっと知りたい日本史〉5 中世の随筆から読み解く社会と「唐物」 〈地域の歴史〉2 古代・中世の蝦夷地とアイヌ 29 一揆はどのようにして生まれ, 中世の自治を支えたのか 30 中世の産業は民衆生活をどのように豊かにしたのか 31 中世の商業・流通はどのようにうごいたのか 32 戦国時代はなぜはじまったのか 33 戦国大名の領国支配の国際的背景とは 34 14~16世紀の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉3 関東の戦国時代—後北条氏による関東統一への道 〈女性の歴史〉2 「戦う」女性たち			
7 月	4	第3編 近世の日本と世界	第1章 近世への転換と歴史的環境	政治・経済政策や対外関係を基に中世から近世への時代の転換を理解している。	村落や都市の支配の変化, アジアやヨーロッパとの交流などに着目して, 中世から近世の国家・社会の変容について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。	中世から近世への転換と歴史的環境について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
			35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか 36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか 37 秀吉の政治と対外政策はどのようなものか 38 信長・秀吉の時代の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉4 九州地方と東アジア海域世界 〈もっと知りたい日本史〉6 秀吉の対外政策			
	1		第2章 歴史資料と近世の展望	近世の特色を示す適切な歴史資料を基に, 資料から歴史に関わる情報を収集し, 読み取る技能が身についている。	前章の学習を踏まえ, 中世からの時代変化に着目して, 近世の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ, 資料を通して読み取れる情報から, 近世の特色について多面的・多角的に考察し, 仮説を表現している。	歴史資料と近世の展望について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	14		第3章 近世の国家・社会の展開と画期 第1節 幕藩体制の成立と近世の社会 39 幕藩体制はどのようなものか 40 江戸時代の社会はどのようなものか 41 近世の国際関係はどのように形成されたのか <地域の歴史>5 近世の蝦夷地とアイヌの人々 <地域の歴史>6 近世の琉球と奄美 42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか 43 江戸時代の産業はどのように発展したのか 44 江戸時代の交通と都市はどのように発達したのか 45 儒学と学問はどのように展開したのか 46 江戸時代中期までの文化の特色は何か <もっと知りたい日本史>7 近世社会を構成したさまざまな人々 <女性の歴史>3 江戸時代の遊女	支配秩序や対外関係、技術・産業・文化の展開などを基に、幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解している。	織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	幕藩体制の確立や近世の社会と文化について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。
			第2節 幕藩体制の動揺と社会の変化 47 吉宗はどのような政治をおこなったのか 48 村と町はどのように姿をかえていったのか 49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか 50 外国船の接近は幕府にどのような影響をあたえたのか 51 幕府・諸藩はどのような改革をおこなったのか 52 近世後期の文化の特色は何か 53 近世後期の学問や思想はどのように発達したのか <もっと知りたい日本史>8 江戸時代の朝幕関係 <地域の歴史>7 元禄大地震と大津波	政治体制や社会の動揺、産業・学問の発展、庶民の生活や文化などを基に、幕藩体制の変容、庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	近世の政治や社会の変容、近代化の基盤について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 0 月	4	第4編 近現代の 地域・日 本と世界	第1章 近代への転換と歴史的環境 54 日本はなぜ開港したのか 55 開港は国内にどのような影響を あたえたのか 56 尊王攘夷運動はどのように展開 したのか 57 江戸幕府はどのように滅びた のか	対外関係や政権の転換を 基に近世から近代への時 代の転換を理解している。	欧米諸国の進出によるア ジア諸国の変化, 政治・経 済の変化と思想への影響 などに着目して, 近世から 近代への国家・社会の変 容について, 多面的・多角 的に考察し, 表現してい る。	近代への転換と歴史的環境 について, 見通しを持つ て学習に取り組み, 課題 を主体的に追究しようと している。
			第2章 歴史資料と近代の展望	原始・古代の特色を示す 適切な歴史資料を基に, 資料から歴史に関わる情 報を収集し, 読み取る技 能が身につけている。	前章の学習を踏まえ, 黎 明期の日本列島の変化に 着目して, 原始社会の特 色について多面的・多角 的に考察し, 時代を通観 する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏ま え, 資料を通して読み取 れる情報から, 原始・古 代の特色について多面的・ 多角的に考察し, 仮説を 表現している。	歴史資料と原始・古代の 展望について, 見通しを 持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しよ うとしている。
	9	第3章 近現代の地域・日本と世界の画期と構造 第1節 近代国家の形成	58 新政府はどのような国家をめざ したのか 59 明治政府はどのような経済政 策を進めたのか 60 明治政府の宗教・文教政策は どのようなものだったのか 61 明治初期の対外関係はどのよ うに変化したのか 〈地域の歴史〉8 近代の蝦夷地・北 海道 〈地域の歴史〉9 近代の琉球・沖縄 62 欧米文化は社会にどのような 影響をあたえたのか 63 自由民権運動はなぜはじま ったのか 64 自由民権運動はなぜ衰退し たのか 65 立憲体制はどのようにして確立 したのか 66 条約改正はどのようにして達成 されたのか	明治維新, 自由民権運 動, 大日本帝国憲法の制 定, 文明開化の風潮, 条 約改正などを基に, 立憲 体制への移行, 国民国家 の形成, アジアや欧米諸 国との関係の変容を理解 している。	アジアや欧米諸国との関 係, 地域社会の変容, 欧 米の思想・文化の影響な どに着目して, 主題を設定 し, 近代の政治の展開と 諸外国との関係の確立に ついて, 事象の意味や意 義, 関係性などを多面的・ 多角的に考察し, 歴史に 関わる諸事象の解釈や歴 史の画期などを根拠を示 して表現している。	明治維新や国民国家の形 成, 産業の発展の経緯, 近代の文化の特色につい て, 見通しを持って学習に 取り組み, 課題を主体的 に追究しようとしている。
			67 日清戦争前後の国内政治はど のようなものか 68 日清戦争はなぜおきたのか 69 日清戦争後の東アジア情勢は どのように推移したのか 70 日露戦争はどのような戦争だ ったのか 71 日露戦争後の東アジア情勢は どのように変化したのか	日清・日露戦争などを基 に, 立憲体制の推移や展 開, 国民国家の形成, ア ジアや欧米諸国との関係 の変容を理解している。	日清・日露戦争が及ぼし た影響などに着目して, 主 題を設定し, 近代の政治 の展開と国際的地位の確 立について, 事象の意味 や意義, 関係性などを多 面的・多角的に考察し, 歴 史に関わる諸事象の解釈 や歴史の画期などを根拠 を示して表現している。	アジアや欧米諸国との関 係の変容について, 見通 しを持って学習に組み み, 課題を主体的に追究 しようとしている。

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 1 月	4		72 近代産業はどのように発展したのか 73 社会問題に政府はどのように対応したのか 74 明治の思想・教育・学問の特色は何か 75 明治文化の特色は何か 〈女性の歴史〉4 製糸業と工女 〈もっと知りたい日本史〉9 近代漫画の先駆者北沢楽天	産業革命の展開, 学問の発展や教育制度の拡充, 社会問題の発生などを基に, 産業の発展の経緯と近代文化の特色を理解している。	産業の発達の影響と影響, 地域社会における労働や生活の変化, 教育の普及とその影響などに着目して, 主題を設定し, 日本の工業化の進展と近代の文化の形成について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	主体的に学習に取り組む態度 近代の産業の発展と近代の文化の特色について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
			6	第2節 政党政治と大衆社会 76 政党政治はどのように発展したのか—明治から大正へ 77 第一次世界大戦に日本はどのようにかかわったのか 78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか 79 第一次世界大戦後の日本外交はどのようなものか 80 大正デモクラシーとはどのようなものか 81 政党内閣制はどのようにして確立したのか 82 大正前後の文化の特徴は何か 〈女性の歴史〉5 新しい女 〈地域の歴史〉10 関東大震災	第一次世界大戦, 社会運動の動向, 政党政治などを基に, 政治参加の拡大の意義, アジアや欧米諸国との関係の変容, 大衆社会の形成を理解している。	地域社会における労働や生活の変化, 第一次世界大戦が及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 国民の政治参加の拡大と日本の工業化の進展について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 月	9		<p>第3節 第二次世界大戦と日本の社会</p> <p>83 昭和初期の経済不況はどのようなものだったのか</p> <p>84 昭和初期の外交はどのようなものだったのか</p> <p>85 ファシズムはどのようにして台頭したのか</p> <p>86 日本はなぜ国際連盟を脱退したのか</p> <p>87 軍部ははどのようにして台頭したのか</p> <p>88 日中戦争の長期化のなかでつくられた戦時体制とは</p> <p>89 第二次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか</p> <p>90 アジア太平洋戦争はどのように推移したのか</p> <p>91 戦時下の国民生活はどのようなものだったのか</p> <p>92 アジア太平洋戦争はどのようにして終結したのか</p> <p>〈地域の歴史〉11 都市への空襲と模擬原爆投下訓練</p> <p>〈もっと知りたい日本史〉10 戦時下の植民地と満州</p>	<p>恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。</p>	<p>国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	<p>第二次世界大戦に至るまでや戦時中の政治や社会、国民生活の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。</p>
1 月	12		<p>第4節 現代の日本と世界</p> <p>93 占領政策はどのように進められたのか</p> <p>94 占領下の経済と政治はどのように推移したのか</p> <p>95 戦後の経済政策はどのように転換したのか</p> <p>96 戦後の人々の暮らしはどのようなものか</p> <p>〈もっと知りたい日本史〉11 アジアの解放</p> <p>〈地域の歴史〉12 復員と引揚げ—舞鶴港</p> <p>97 冷戦は占領政策にどのような影響をあたえたのか</p> <p>98 独立後の政治はどのように推移したのか</p> <p>99 55年体制はなぜ成立したのか</p> <p>100 独立後の日米関係はどのように変化したのか</p> <p>〈地域の歴史〉13 沖縄と基地</p> <p>〈女性の歴史〉6 女性のファッション</p>	<p>占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係を理解している。</p>	<p>第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	<p>第二次世界大戦後の社会や政治について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。</p>

月	配当 時数	編	学習内容(目次)	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 月			101 高度経済成長はなぜおきたのか 102 高度経済成長は社会にどのような影響をあたえたのか 103 55年体制下の政治はどのように推移したのか 104 1990年代の政治や経済におきた変化とは 105 日本はこれからどのような道を歩むのか 〈もっと知りたい日本史〉12 『昭和天皇実録』にみる昭和天皇の幼少期 〈もっと知りたい日本史〉13 戦後の文化	アジア諸国との関係, 高度経済成長, 社会・経済・情報の国際化などを基に, 戦後の経済や対外関係, 国民生活の変容, 現代の政治や社会の枠組みを理解している。	冷戦の推移と終結, グローバル化の進展の影響, 国民生活や地域社会の変化などに着目して, 主題を設定し, 戦後政治の展開, 日本経済の発展, 戦後の国際社会における日本の役割について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	主体的に学習に取り組む態度 現代の政治や社会の枠組みにつながる戦後の政治や経済, 外交, 社会について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究しようとしている。
3 月	1	主題学習	第4章 近現代の歴史の画期		日本と世界の相互の関わり, 地域社会の変化, これまでの近現代の学習で見出した画期などに着目して, 事象の意味や意義, 関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し, 日本の近現代を通じた歴史の画期を見出し, 根拠を示して表現している。	第3章までの学習を振り返るとともに, 科目のまとめである次の学習へのつながりを見出している。
	2	主題学習	第5章 現代の日本の課題の探究 1. 江戸時代の火山災害 2. 地域からみた日本の戦後史 3. 年中行事から探る伝統文化	これまでの学習の成果を活かし, 主題に関する歴史的経緯を踏まえて, 現代日本の課題を理解している。	歴史の画期, 地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係, それ以前の時代からの継続や変化などに着目して, 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について, 適切な主題を設定して多面的・多角的に考察, 構想して表現している。	これまでの自身の学習を振り返って調整するとともに, 生徒自身が主体となる社会への見通しを示そうとしている。
計 105						